



参議院議員(埼玉県選挙区)

こうだ邦子通信

令和
記念号

vol.123

2019年5月号

発行：行和会 〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂2-3-18 セキモビル4F TEL 048-815-8646 FAX 048-815-8647

討議用資料

政治ジャーナリストの鈴木哲夫さんをお迎えして、埼玉県政に対する思いなどを語り合いました。

鈴木：本日、5月9日。埼玉県知事選に向けて決意表明されましたね。行田さんが思う埼玉の特徴って何ですか。

行田：埼玉って、いろんな地域があって、それぞれに多様性があることが埼玉なんです。もともと昔は武士団も多く存在したし、江戸時代も地域ごとにそれぞれ栄えていました。いろんな彩(いろどり)あふれた地域の集合体が、埼玉であり埼玉の魅力です。

鈴木：面白い見方ですね。それをさらに伸ばしてあげるとい方向性ですか。

行田：そうです。県がリードして引っ張っていくのではなく、それぞれの地域の成り立ち、個性を活かして、地域が魅力を放ち、より活気のある地域になることが、埼玉全体を盛り上げて行くんだらうと思います。

新しい時代
新しい埼玉



参議院議員

こうだ邦子
行田邦子

県内各地を隔々まで自分の足で歩き続けた参議院ナンバーワンの行動派。心より愛する埼玉のために、県政を進化させるために、今、立ち上がる。



対談

こうだ邦子
×
鈴木哲夫

政治ジャーナリスト

鈴木哲夫

すずきてつお

1958年生まれ。早大卒。テレビ西日本報道部、フジテレビ政治部、日本BS放送報道局長などを経て13年からフリー。

今こそ埼玉県政を 進化させる!

市町村との関係をダイナミックに変える

鈴木：あーなるほどね! そうすると県はどんな役割ですか?

行田：市町村との関係を、ダイナミックに変えて行くべきです。パズルで例えるならば、市町村がパズルのピースで、それぞれが、個性豊かに彩(いろどり)にあふれている。それを下支える土台が県の役割。もちろん土台がしっかりしていないとパズルは完成しません。そこそが新しい県政だろう。埼玉の歴史を考えると、それが一番良い姿なのではと思っています。

鈴木：これは行田さんがずっとやってこられた地域主権、地方分権ですね。重要施策についてはどうですか。

行田：まずは道路、河川、鉄道網などのインフラ整備。未来への投資です。埼玉は、急速に都市化が進んだので、交通網整備が追いついていないんですよ。

鈴木：それは正直思いますね。車に乗っていると体感としてあります。

行田：今はゼロ金利時代です。今こそ積極投資をすべきです。もちろん賢い選択をしていかなければなりません、インフラ投資は経済の生産性を高め、将来世代への贈り物になります。埼玉はここが遅れていると感じています。

鈴木：道路については10分で行けるところが混んでいて1時間かかると、その1時間によって大きく経済活動が低下します。その損失を考えると莫大になるんですよ。道路って単に生活上の利便性だけでなく、実は経済に影響しているんですよ。



鈴木：ところで国会では大きな実績をあげられたそうですね。

行田：4年前に超党派で「女性の政治参画推進議員連盟」を立ち上げ、最終的には90人ぐらいになりました。女性の政治参画によっていかに政治が、世の中が変わるか、ということをやっとやってきて、ついに去年5月16日には、「政治分野における男女共同参画推進法」を成立させることができました。自民党から共産党まで全会一致で決決して決立したのですが、その法案骨子は私が作ったものです。

鈴木：超党派に信頼を集める行田さんならではのセールスポイントですね。

県議会との対立を正常化すべき

ところで地方自治体は二元代表制と言われ、県議会議員も県民が選ばれるわけですね。知事も議会も県民の代表です。議会との関係はどうお考えですか?

行田：埼玉県議会、実は議員が提案した条例の成立数が日本一なんです。予算特別委員会も、一問一答形式でやっています、かなりレベルが高いです。

鈴木：そうですね。

(裏面へ)

埼玉県知事選挙
告示8月8日
投開票8月25日 決定!